

2022.1.1

# こんにちは わ ～ると

No. 80

半田国際交流協会だより

2022

にちようびの  
にほんご きょうしつ



2022年1月16日  
スタート!



※定員を満たしている場合は、キャンセル待ちとなります。  
事前にお問い合わせください。

半田国際交流協会では、16歳以上の半田市に住む、または半田市で働く外国人の方のために日本語教室を開催しています。1月からは、約8カ月間、毎週日曜日の午前10:00～11:50の間、半田市福祉文化会館(雁宿ホール)で行います。日本語を学びたい外国人の方にご紹介ください。

## 日本語教室の歩み



2004



半田国際交流協会は2003年10月に民間組織として発足しましたが、日本語教室はその翌年始まりました。いつでもだれでも参加可能で、マンツーマンか2～3人のグループで勉強しました。最初は、インドネシアの「研修生」や、中国人のお嫁さんが多くいました。



平日にも、ブラジル人対象の教室を行ったり、「暮らしの日本語教室」で市内施設を視察したりしました。

2010



だんだんと学習者が増え、先生と学習者のマッチングが大変になっていきました。また、2008年のリーマンショックで、職を失ったブラジル人の方がたくさん来るようになり、それぞれのグループが大きくなっていきました。

学習者がどれだけ来ても対応できるよう、2010年に教室スタイルへと変わりました。先生はチームに分かれ、入門から上級の6クラスを担当します。



2016



2010年に「技能実習」の資格ができてから、労働者として外国人の受け入れが進み、それに伴い、教室の学習者も増えていきました。継続の人もある上に、新規で、毎年約300人の登録がありました。

「技能実習生」は2015年までは中国人が多かったですが、2016年からベトナム人のほうが多くなり、だんだんと教室の大多数を占めるようになりました。



2020



コロナ禍となり、2020年3月に教室もイベントもいったん中止となりましたが、制限があるなか、様子をみながら少人数定員制で続けています。現在、学習生の半分はブラジル人となっています。



日本語教室の延長として、毎年、さまざまなイベントを行いました。



18th  
**こんにちわーど  
 フェスティバル**  
 2021  
 11/20  
 Sat.  
**世界の<sup>人</sup>たちと  
 あそぼう!**

2021年11月20日(土)、第18回「こんにちわーどフェスティバル」を雁宿ホール講堂にて開催しました。  
 たくさんの方にご来場いただき、10カ国の交流ブースや、国際色豊かなパフォーマンスステージなどをお楽しみいただきました。



あいさつしながら  
 各国のブースを  
 まわろう!



松石会長挨拶



チアダンス&チアリーディング  
 (ソシオ成岩スポーツクラブ)



**Brazil**



市長も「ぼあ たるじ!」



インドネシアの竹製打楽器アングロン  
 (LEE O アングロンチーム)



観客もアングロン演奏に参加



**Peru**



ブラジルの格闘技 カポエイラ  
 (カポエイラ デンデ マルオ)



カポエイラの体験コーナー



アコーディオンとピアノによるハンガリーの調べ  
 (Emi&Alpakka)



アラブ音楽&ベリーダンス  
 (Mashriq)



**USA**



**Hungary**







／ いい～はお！ ／



**China**



／ すらまっとしあん！ ／



**Indonesia**



ブラジルのダンス カリンボ  
(カリンボマンゴー)



スリランカの国旗の  
キーホルダー作り



／ あ～ゆぼ～わん！ ／



**Sri Lanka**



半田市出身の  
シンガーソングライター  
KATIE FORD



シタールとタブラによる北インド古典音楽  
(吉田こうき×石田紫織)



インドネシアのバリダンス  
(スルヤムトゥ)



インドネシアのジャワダンス  
(SUSANA)

／ ちょむりあっふ すお！ ／



**Cambodia**



／ しんちやお！ ／



**Viet Nam**



**Nepal**

／ なますて！ ／





## 日本のすべてを楽しむ

日本語学習生 オオウチ ブルーノ(ブラジル)

外国人の生活には様々な困難がつきもので、しばしば母国の家族に会いたくなるものです。より良い生活ができると期待して来日しましたが、日本では多くの困難に直面し、自分が何をしたいのかを忘れてしまい、ただひたすら仕事をし、仕事から家に帰り、家から仕事に行き、週末には休んでまた仕事をするという生活になってしまいます。

しかし、私のように日本を生活の場とすることを決めた多くのブラジル人にとって、日常生活に変化をもたらすことは、生活の質を向上させるために不可欠です。だからこそ、在東京ブラジル総領事館が開催する、在日ブラジル人料理コンテスト「ブラジル・グランド・シェフ」のようなイベントは非常に重要なのです。好きなことに打ち込み、それを人に披露することは、とても楽しく、やりがいがあります。このイベントは2018年から毎年行われていますが、私はすべての回に参加し、また料理が好きな人にはぜひ申し込むよう勧めてきました。



半田市在住。ブラジル人経営者向けの経営コンサルタント

今年は「沖縄県産紫芋と熟成チーズのアリゴ(マッシュ)と、ピッカーニャ(イチボ肉)のステーキ 椎茸の赤ワインソース添え」を作りました。この料理は、ブラジルと日本を宣伝するために作ったもので、日本の食材である沖縄の紫芋、椎茸を使用しました。そして、ブラジルの代表的な食材として、熟成チーズとピッカーニャのカット肉を使用しました。そして、この料理でコンテストの第1位を獲得しました。料理が大好きな私は、とてもうれしかったです。これまで私を支えてくれたすべての人、特に無条件にサポートしてくれた妻にはとても感謝しています。

最後に、この疲れ果てた日常を断ち切って、生活の質を確保することが大切であることをもう一度強調したいと思います。そこで私は、ブラジル人に日本の素晴らしい観光地やおいしいレストランを紹介するウェブサイト(www.amodadacasa.com)を作ることを思いついたのです。私は、日本に滞在している間に経験を積み、日本のすべてを楽しむべきだと考えています。

そして知識といえば、日本語を学ぶことは、これらの経験をはるかに楽しいものにすることができます。だからこそ、ここ半田市で日本語教室を探しました。参加しやすく、フレンドリーな先生方がいて、勉強がとても楽しくなりました。また、私自身と私のプロジェクトについて紹介する機会を与えてくださった半田国際交流協会に感謝しています。何か、外国人の方のお役に立てればいいと思います。



紫色のマッシュの上に、イチボ肉(牛のお尻の先の部位)のやわらかいステーキ



チーズ入りのマッシュはすごい弾力!



ブラジルの熟成チーズは、日本では群馬県のビルミルク社のビルマルさんが生産しています。日本のコンテストで銀賞を獲得し、現在は日本を代表してアメリカのコンテストにも参加しています。



優勝料理の日本語レシピはこちらから見られます



ブルーノさんが作った日本紹介サイト。料理の動画もあります



表彰式には、同じ半田市出身の2021Miss SAKE 松崎未侑さんも来ていました。

私も一口いただきましたが、赤ワインの酸味と椎茸の奥行きのあるソース、イチボ肉の塩味と紫芋の甘味とチーズのモったり感が絶妙で大変美味でした。

## 半田国際交流協会にご入会ください!

## 会員募集

年会費	個人会員	2,000円
	団体会員	10,000円
	法人会員(1口 5,000円)	
	・従業員数 1名~29名	1口以上
	・従業員数 30名~49名	2口以上
	・従業員数 50名~	4口以上

申込先: 半田国際交流協会(雁宿ホール内1階)  
TEL: 0569-26-1929 FAX: 0569-26-1992  
E-mail: hia@poplar.ocn.ne.jp  
HP: <http://www.handakokusai.aichi.jp>

